

會勢の進展極めて順調で會員の總數は八年五月に至り中央地方を通じて約五萬の多きに達したので同月十六日を期して發會式を舉行した即ち參會者一同午後三時明治神宮及靖國神社に參拜し且つ宮城を拜した後午後六時東京會館に參集し日枝社宮司の修祓、君が代の合唱に始まり設立經過報告、主義綱領及規約の朗讀議決、總裁として田中大將の推戴、總裁の挨拶、役員の指名、憲法發布勅語の捧讀、宣言朗讀、祝電披露、聖壽及明倫會萬歲三唱等の順序を経て嚴肅且つ圓滑に式を終つた。次いで大食堂に入り祝盃を擧げ、總裁の挨拶、徳川侯爵の答辭があり多數會員の時勢を慨せる熱烈火の如き演説の後極めて盛會裡に散會した。翌十七日午前十時より中央亭に於て發會式の爲め上京した地方會員と本部役員との懇談會を開き相互に忌憚なく意見を交換して十分に意思の疎通を圖つた。

### 發會式以後の概況

發會式を終つて以來本部では益々活潑な活動を開始し、新規約に基く常務幹事は四部門に分る各業務を分擔し一糸亂れざる統制の下に活動し、理事會は本會の發展に資すべき各般の協議を進めて居る。又新評議員懇談會は七月八日に開會され結束と意思の疎通に大きな貢献をした。

本部役員も爾來座談會、懇談會、支部發會式、講演會、演説會或は事務打合せの爲全國各地に出張し各地でも

會勢の擴大著しいものがあつて五月二十二日には山梨支部の發會式が盛大に行はれ、次いで七月二十八日には愛媛支部の發會式が盛大且つ嚴肅に舉行され山梨は今井新造氏、愛媛は香川熊太郎氏が夫れ、支部長に推薦せられて總裁の囑託があつた。七月廿九日には愛媛縣喜多郡に愛媛支部川下分會の發會式が行はれた。又七月十三日には近畿支部聯合會を京都に開催し、大阪、奈良、滋賀、京都の各支部から集會して協同動作をとることゝなつた。

△八月二十二日田中總裁は幹事渡邊中將、同匠斐少將を帶同して齋藤首相を官邸に訪問、既成政黨の積弊打破の立場から政・民兩政黨との妥協苟合反對に關し六條に亘る重大なる進言を行つた。

△八月二十六日より三日間東京に於て夏期青年講習會を開き、青年の非常時意識を高め其覺醒奮起を促進した。△更に本會は、時局に鑑み、時恰かも政治季節に入つたのを好機として九月十五日より東京、京都、大阪、神戸を初め、北は北海道から、南は九州の最南端に至る間の主要なる百都市に於て第二回全國大演説會を連續的に行ひ、非常時打開と、昭和維新斷行に關し本會の抱負經綸を徹底せしむると共に、國民に一大覺悟を促す上に多大の貢献し多數の共鳴者を獲得した。

△九月十七日には九州八幡市に支部發會式が擧げられ後藤久氏支部長となる。

△九月十八日には北海道の中心地、旭川市に支部が盛大な發會式をあげ、飯島五郎氏支部長となる。

△九月二十三日には青森支部が華々しく發會式を舉行。相馬武一氏支部長に擧げらる。